

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
FOLFOXIRI+BV	14日間	高度催吐性リスク

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
イメンド125mg	1cp	1×化学療法60～90分前	●													
イメンド80mg	1cp	1×朝	●	●												
デキサメタゾン	8mg	1×朝	●	●	●	○*	※○は嘔気によって5日目まで内服も可									

滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	パロノセトロン デキサメタゾン	1バッグ 9.9mg	メイン	30分	●													
2	ベバシズマブ 生理食塩液	5mg/kg 100mL	メイン	1時間30分※														
3	イリノテカン 5%ブドウ糖	150mg/m ² 250mL	メイン	1時間	●													
4	オキサリプラチン 5%ブドウ糖	85mg/m ² 250mL	側管	2時間	●													
	レボホリナート 5%ブドウ糖	200mg/m ² 250mL	メイン	2時間	●													
5	フルオロウラシル 生理食塩液	2400mg/m ² 適宜調節	メイン	46時間	●	→												

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行ってもよい。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与可能。